

28PA-pm316

Helicobacter pylori 感染 Mongolian gerbil の胃粘膜の集合細静脈における CD34 の染色性の検討

○浦山 るみ¹, 楞田 朱音¹, 高橋 玲^{1,2}, 村上 元庸³ (¹同志社女大薬, ²同志社女大院薬, ³同志社女大看護)

【背景・目的】胃粘膜微小循環系は胃粘膜保護、及び傷害後の胃粘膜治癒に重要な役割を果たしている。ヒトの胃粘膜における胃内腔の拡大内視鏡での観察及び組織学的検討では *Helicobacter pylori* (*H. pylori*) 感染により毛細血管や集合細静脈の消失がみられることが報告されている。一方、*H. pylori* 胃炎における集合細静脈について、CD34 の染色性の観点からの十分な報告はなされていない。今回我々は、Mongolian gerbil を用いて *H. pylori* 感染モデルを作製し、血管内皮細胞に存在するタンパク質のひとつである CD34 の染色を行い、胃粘膜萎縮境界部及び萎縮部における微小血管について検討した。

【方法】生後 8 週齢の雄性 Mongolian gerbil を用いた。 10^6 CFU/mL *H. pylori* (TN2GF4 株) を経口投与にて感染させた後、8 週飼育したものを *H. pylori* 感染群とし、*H. pylori* を投与せずに飼育したものを非感染群とした。摘出した胃組織を用い、サンプルとした。パラフィン包埋後、5 μ m の薄切切片を作製し、脱パラフィン後、1 次抗体として CD34 を一晚反応させた。2 次抗体を反応させた後、DAB を用いて発色させた。

【結果・考察】毛細血管及び集合細静脈の血管内皮細胞において CD34 の顕著な染色が見られた。*H. pylori* 感染群の毛細血管は走行の乱れや断片化、管径の拡大が見られたが CD34 染色は認められた。一方集合細静脈に関して、*H. pylori* 感染群の胃粘膜の萎縮部では消失しており、萎縮境界部においては CD34 の染色の低下が見られた。このことから胃粘膜萎縮の進行と血管の消失及び性状の変化には相関があり、胃粘膜傷害を微小循環系の傷害の観点から検討していく必要があると考えられた。